

一般的な電気製品の節電ポイント



照明

- 不要な照明をごきりだけ消しましょう。
- 照明のガラスやカバーをこまめに掃除しましょう。

テレビ

- 画面の輝度を下げましょう。
- 必要な以外は消しましょう。



温水便座

- 便座の保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉めましょう。



冷蔵庫

- 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変えましょう。
- ※食品の傷みにご注意ください

待機電力

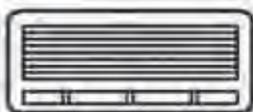
- リモコンの電源をなく本体の主電源を切り、長時間使わない機器は、プラグをコンセントから抜きましょう。



エアコン

- 室温は28℃に設定しましょう。
- エアコンよりも扇風機の方が消費電力を抑えることができます。
- ※熱中症に注意してください。

みんなと今年のお夏は節電アクション!!



- 問合せ 環境課 ☎74-3006
- 期間 7月1日～9月30日 平日9時～20時
- ※お盆（8月13日～15日）の期間を除く。

節電 OFF

★高齢者や乳幼児などがある家庭などは、無理な節電はしないでください。

- ◆各家庭では夏の20時頃に平均で、約700Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約7割以上を占めています。
- ◆事業所の皆さんへ……照明、空調、OA機器、冷凍冷蔵庫などの節電が非常に効果的なため、各事業所でもご協力をお願いします。
- ◆各公共施設でも、節電に取り組んでいます。

今夏の需要の想定では、定着節電として、2010年度比7・1%減、36万kW減を見込んでいるため、この水準を目安に生活、健康や経済活動に支障をきたさない無理のない範囲で、節電にご協力をお願いします。

北海道電力の発表では、今年の夏の供給力が、現時点で516万kWを確保できる見通しとなりました。

節電の定着効果などを見込み、電力需給を472万kWと想定し、結果今夏の供給予備力は44万kW（予備率9・2%）を確保できる見通しとなり、電力安定供給に最低限必要な予備率3%を上回る見込みとなりました。

一方泊発電所が停止状態の中、火力発電設備については引続き高稼働となることを想定しており、今後も計画外停止などの発生など、不測の事態による電力需給がひっ迫することも考えられます。

節電にご協力を!

